

公開番号 又は 特許番号	特開 2014-52238
発明名称	プローブ作製装置及びプローブ作製方法
出願人 又は 権利者	セイコーインスツル株式会社、国立大学法人東京大学
想定デバイス	環境物質高感度センサ、環境物質センシングテープ、アンビエントデバイス
要約	【利用分野】 探針の先端にナノチューブ束を所望する状態で結合させて高品質なプローブを得ること。 【発明の内容】 カーボンナノチューブが分散された溶液Wが貯留された液槽 11 と、該液槽内に配設された対向電極 13 と、溶液に探針が浸漬された状態で探針が対向電極に対して対向するようにカンチレバー 3 を固定するカンチレバーホルダ 12 と、探針と対向電極とを相対的に移動させる移動手段 14 と、カンチレバーの変位量、振動振幅及び共振周波数のうちの少なくともいずれか 1 つを測定する測定手段 15 と、探針と対向電極との間に交流電圧を印加して、カーボンナノチューブを誘電泳動により探針の先端に結合させることでナノチューブ束を形成させる形成手段 16 と、を備え、形成手段は、測定手段で測定された測定値と予め設定された基準値とを比較することでナノチューブ束の形成状態を監視する監視手段 35 を有するプローブ作製装置 10 を提供する。
図面	